

第3章 計画の基本方針

1. 計画のキーワードと将来像

本町では、新町次世代育成支援対策行動計画（前期計画）の策定時に、小学生までの子どもを育てている家庭を対象としたニーズ調査、子どもや子育てに関係する機関・グループへのヒアリング調査などを実施し、子育ての現場の声をできるだけ計画に反映できるよう努めました。

また、本計画の策定にあたって、アンケート調査を実施し、子育て世帯のニーズの把握に努めました。

それらの結果、子育てに関する住民の願いは、前期計画同様、大別して以下の2つに表されます。

■計画のキーワード

- ・安心して子育てをしたい
- ・子どもの生きる力を育みたい

後期計画に係るアンケート調査においても、住民の願いや課題は継続していることから、今後も、安心して子育てができる環境の中で子どもの生きる力がしっかりと育まれるまちをめざし、将来像を以下のように設定します。

■計画の将来像

子どもと幸せをともにする
安心・いきいきタウン 北広島町

2. 基本姿勢

将来像を実現していくために、前期計画から引き続き、「子どもの幸せを第一に考える」、「家庭の子育てを支援する」、「地域の力を生かす」という3点を基本姿勢として施策を実施していきます。

(1) 子どもの幸せを第一に考える

次世代育成支援の主役は子どもです。子どもをひとりの独立した人格として尊重し、子どもの幸せを第一に考え、子どもの利益が最大限に尊重されるよう配慮して、施策を実施します。

(2) 家庭の子育てを支援する

子育ての第一義的責任が家庭にあることは広く認識されるところです。その中で、基本的な生活習慣が身につけていない子どもが増えているなど、家庭の教育力の低下も指摘されています。家庭がしっかりと子どもに向きあい、愛情を注ぐことは、子どもの成長に欠かせないものです。

「家庭が子育てに関して本来的な役割を果たしていけるよう支援する」という観点から施策を実施します。

(3) 地域の力を生かす

子育て中の親からは「“地域で子育て”という環境をつくってほしい」、地域住民からは「“地域の子ども”として育てたい」という思いがあるなど、地域での子育てに親と地域の双方が積極的な気持ちを持っています。

子どもに社会性を身につけさせる上でも、また、子育てに関する保護者の負担を和らげる上でも、地域が子育ての意識を持つことには大きな効果が期待されます。

これらのことから、地域の力を生かすことに重点を置き、施策を実施します。

3. 重点的に取り組む方向性

アンケート調査等から得られた課題について、その改善・解消を図るために取り組む方向性を明らかにし、重点的に施策を実施していきます。

重点1 子育て支援の社会づくり

子育て中の保護者が、楽しく、安心して子育てができるよう、行政、地域、事業所等が協力していく社会の形成を促進します。

子ども手当をはじめとする経済的支援の充実や医療費等の助成、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた広報・啓発や事業所支援、ファミリーサポートセンターに参加する住民の増加に向けた意識づくりなどに取り組み、まち全体で子育てを支援する社会づくりを進めます。

重点的に取り組む施策

総合的な窓口の充実	企業に対する関係法制度の普及啓発
広報誌、ホームページ等による情報提供の充実	一般事業主行動計画の策定に関する普及啓発
子どもと家庭を支える地域社会づくり	乳幼児医療費助成制度
安心して子どもの健康管理ができる保健医療の推進	児童医療費の助成制度
ファミリーサポートセンター事業の実施	保育料負担軽減制度
ワーク・ライフ・バランスの普及啓発	

重点2 子どもたちの笑顔づくり

子どもたちが健やかに成長し、社会性や人間性を学ぶことができるよう、子どもの遊びや活動、学習等の意欲を高めることができる地域づくりに努めます。

豊かな自然の中で安心・安全に遊べるよう、遊び場の確保・充実、地域の見守り支援などの仕組みづくりや、多くの子どもたちや世代間の交流等を図り、豊かな経験と丈夫な心身、郷土愛を育む、子どもの笑顔づくりを進めます。

重点的に取り組む施策

外出しやすいまちづくり	地域交流の促進
バリアフリー情報	世代間交流の促進
防犯・防災対策の充実	歴史、自然資源の有効活用
子どもの人権教育・啓発の推進	拠点施設の整備
遊びを促すボランティアの発掘と育成	地域活動コーディネーターの活用
学校・家庭・地域の連携	中学生・高校生等と乳幼児のふれあい促進

重点3 ニーズに応える保育サービスづくり

昨今の保護者の多様な就労形態により、必要とされる保育サービスも多様化しています。就労の多様化、女性の社会進出は、地域の活性化にも必要なことから、保育ニーズに応じていけるような仕組みづくりに努めます。

ファミリーサポートセンターを中心に、休日等の保育体制の充実を図るとともに、必要に応じて新たな保育サービスについて検討を進めます。

重点的に取り組む施策

総合的な窓口の充実

「いいお産」の普及

ニーズに応じた保育所の配置と運営

学童保育サービスの充実

ファミリーサポートセンター事業の実施

父親等の子育てへの参加促進

ワーク・ライフ・バランスの普及啓発

女性の再就職支援

一般事業主行動計画の策定に関する普及啓発

4. 基本目標と施策の体系

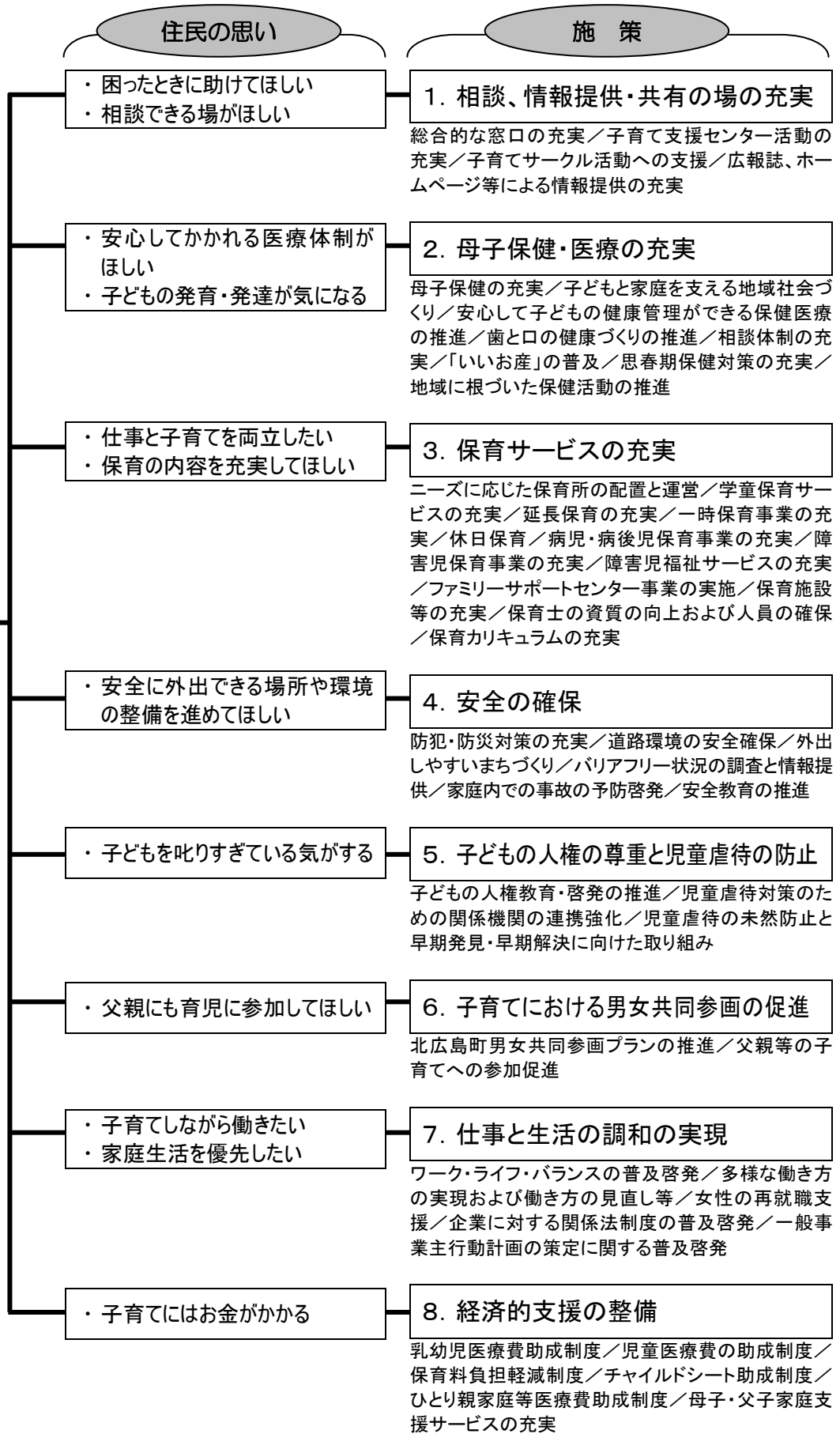
計画の将来像に基づき、以下の基本目標のもとに施策の展開を図ることとします。

基本目標1 安心して子育てできる環境づくり

少子化、核家族化が進む現代にあっては、家庭の中に子育て経験者がいない場合や、両親以外に子どもの面倒をみることができない家庭も増えています。このため、「親となることへの不安」や「子どもの健やかな成長への不安」、「子育てと仕事の両立への不安」などを抱える保護者を地域全体で支えます。

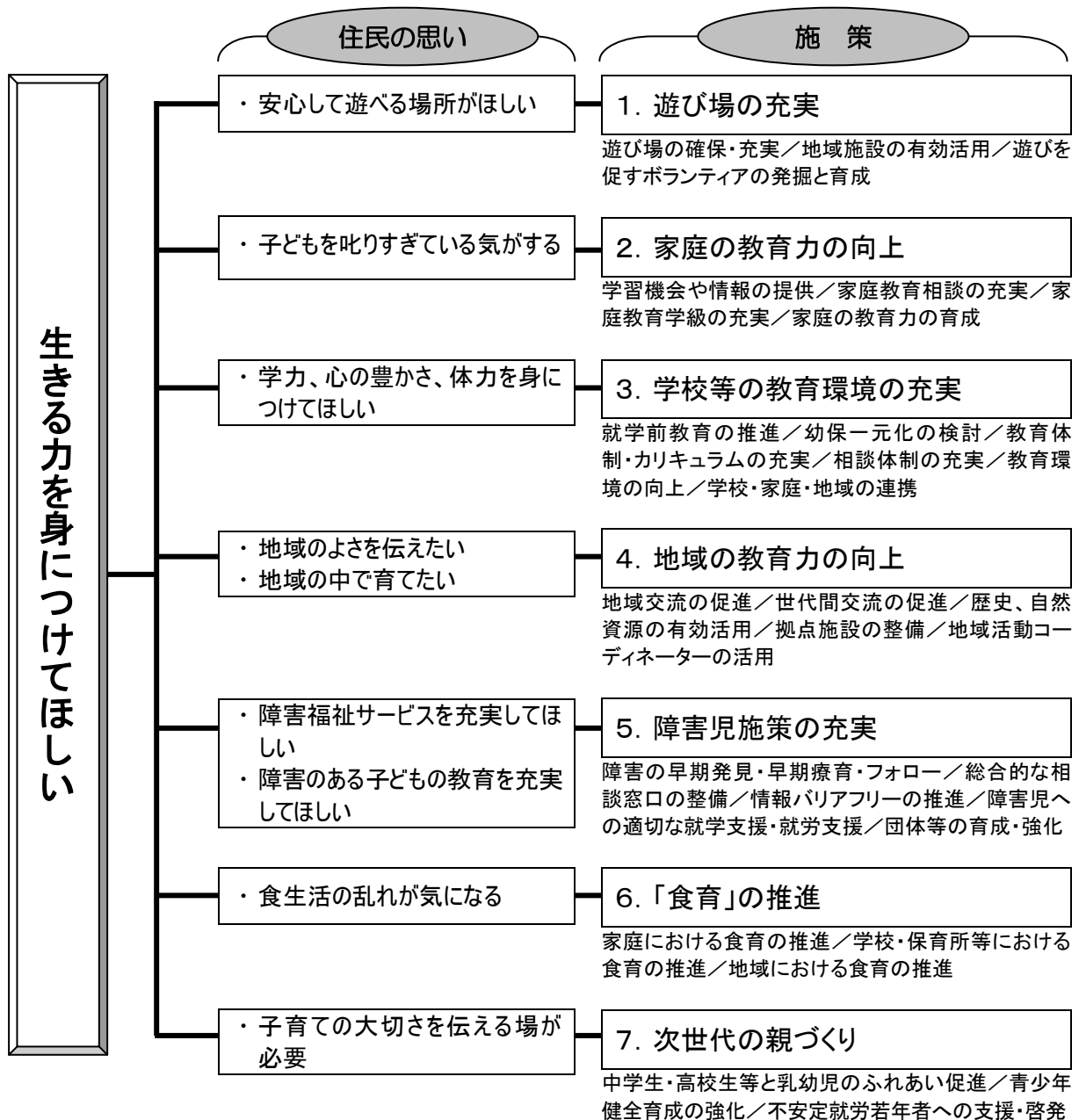
また、生活環境の向上を図り、安心して地域で活動できるまちをつくります。

安心して子どもを産みたい・育てたい



基本目標2 子どもたちの生きる力を育む環境づくり

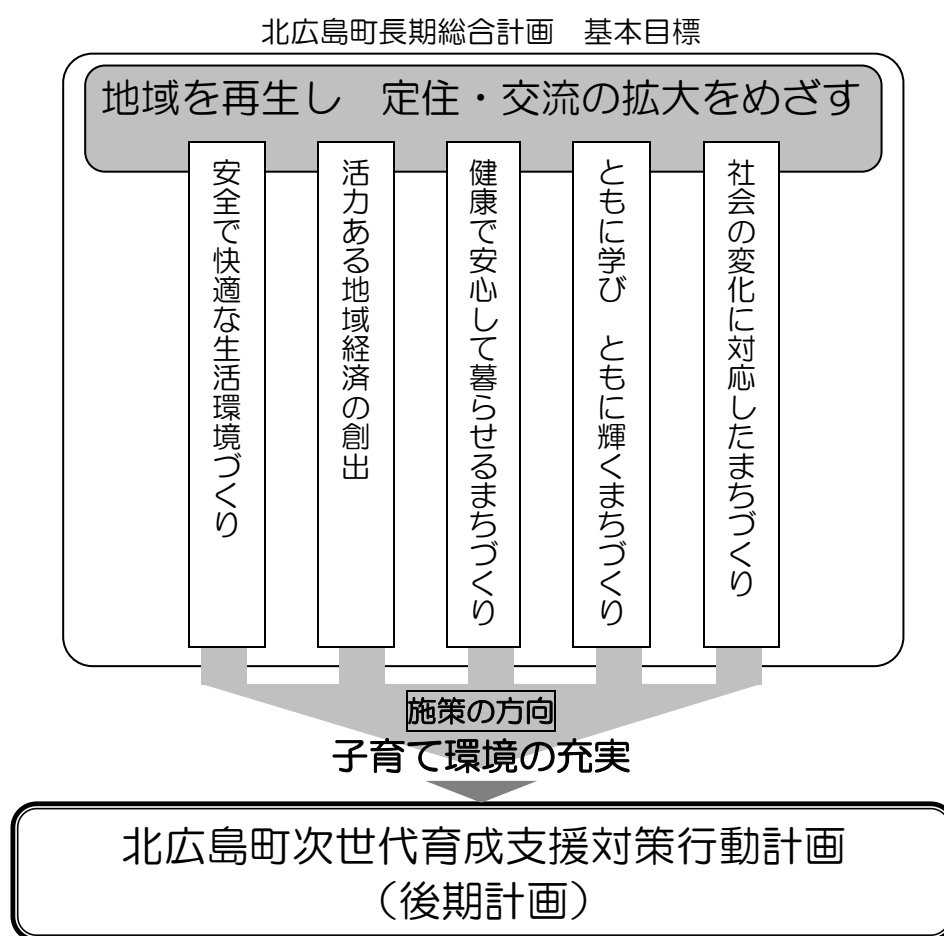
「子どもが幸せになってほしい」というのは、住民みんなの願いです。子どもが幸せな未来を切り開いていくためには、さまざまな体験を通して「生きる力」を身につけることが必要です。社会環境の変化や価値観の多様化を背景に、「子どもが外で遊ぶ姿を見かけない」、「基本的生活習慣が身につけていない」などの声もあがっていることから、家庭・地域・保育所・学校がそれぞれの役割を担い、子どもたちが「生きる力」を身につけていく環境をつくります。



5. 上位計画・他計画との関連・整合性

北広島町次世代育成支援対策行動計画（後期計画）は、上位計画である「北広島町長期総合計画」の基本目標である「地域を再生し 定住・交流の拡大をめざす」の実現のために、次代の町の担い手を育む次世代育成支援は重要な役割を果たします。「北広島町健康増進計画 まめマメきたひろしま」、「北広島町男女共同参画プラン」、「北広島町障害者プラン」、「第4期北広島町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」などの分野別福祉、保健諸計画との整合性を図りながら策定しています。

また、人権・教育・産業・環境など他の分野別計画、広島県の方針等とも整合を図りながら策定しています。



6. 計画の推進にあたって

計画策定後は、「次世代育成支援対策地域協議会」において定期的に進捗状況を報告し、点検・評価します。また、計画の推進にあたっては、庁内ネットワーク連携強化を図るとともに、町内関係機関・団体等による各種ネットワーク体制との連携を図りながら、町全体で次世代育成支援を進めます。

■子育て支援ネットワーク図

